



しかはま自然観察会

のらえもん

2022年度

No. 4

2022.07.16~18

『 人も 自然も みんな友だち 』

第4回活動 第13回夏休みキャンプ体験

「アウトドアライフを日常の生活に取り入れよう」

今年もコロナの不安を持ちながらのキャンプになりました。
が、各自思い思いのアウトドアライフを追求しました。
パンやピザを焼いたり、バーベキューをしたり。圧巻は、
山口・小瀬グループによるそうめん流しでした！
夜は、花火を楽しみました。
のらえもん活動のゲンジホテル鑑賞・魚つかみ、そして
初めてのカヌー教室も、大好評でした。

1, 日 時：2022年7月16日（土）～18日（月）

2, 場 所：キャンプインドロブックル

日光市土呂部97

TEL 0288-97-1026

3, 天 気：2日間は雨がふったり曇ったり

3日目に、やっと朝から太陽が輝きだした。

気温、日中は22℃ぐらい

朝夕は17℃ぐらい

4, 集 合：現地

5, 参加者：総数39人 家族12 内訳 大人 20

小学 9

幼児 6

スタッフ 4

6, 活動内容：

それぞれ、思い思いのキャンプを楽しみました。

1日目は、各テントごとに食事を作り、家族の絆を深めました。

2日目には、のらえもんの活動・・・カヌー・・・魚つかみ・・・ゲンジホテル鑑賞・・・
があり、その上、山口・小瀬さんたちによるそうめん流しがありました。夜は、フ
ァイヤーサークルの中で花火をし、湿った空気にきれいな色取りを演出して、充実し
た1日をみんなで作り出しました。

3日目は、朝から太陽が顔を出し、テントを乾かしたり荷物の整理をしたり、そし
て記念写真を撮り、ふり返りの感想を書きました。

①カヌー体験

のらえもん初のカヌー教室が実現しました。

大人が集まって、なんだかんだといいながらやっと組み立て、川に運びました。

ここは、川の一部が水たまりのように深くなり流れは緩やかな所です。

上流でカヌーに乗ると、緊張した顔でパドルをこいできます。下流では、回転させる役目の大人が待機しています。カヌーが回転すると、今度は上流に向かって、またパドルをあやつっていきます。これの繰り返しで、子どもも大人も初挑戦しました。(水温14℃)

「おもしろい！」

「気分が、いい！」

「柔らかい、感じ！」と

反応はすこぶる良好です。

沖縄でカヌー経験のある小瀬なつみさんは、

スイスイとカヌーを操っていました。

午前9時からと、午後3時からの、2回実施しました。

このカヌーは、古高が30年も前に手賀沼や小貝川で遊んでいたものです。仕事が忙しくなり、ずうっと倉庫に眠っていました。昨年、引っ張り出してみました。孫と遊べるかなと思ったのです。

記憶をたどり、やっとのことで組み立てました。「おっ、これ、のらえもんで使えるな！」と、土呂部の川を思い出しました。

佐川宅急便でキャンプ場に送りました。30年ぶりに日の目を見、のらえもんのみんなに利用してもらい、このカヌー再びは新しい命をもらったようでした。



②魚つかみ

キャンプ場のすぐ上を流れる小さな支流で、両側がコンクリートに被われている。

(水温14, 8℃) ここが魚つかみの会場だ。

カヌーをしていると、「魚つかみの用意ができました」と連絡が入る。同じ水遊びなので、この場面展開はいいゾ！

放たれた魚は60匹。泳いでいる、泳いでいる！開始！の合図とともに、魚を捕まえようとするが、どんどん逃げられる。みんなで歩き回るので、魚は逃げるのに疲れてしまった。石の間で休んでいるところを、どんどん捕まえられていった。

さあ、今度は料理をして頂く番だ。包丁ではらわたを出そうとするが、なかなか切れない。ようやく調理を終え、今度は焼いて食べる番だ。塩をふり夕方まで干してから炭火で焼くと、こんがり美味しく焼けました！

③スイカのおやつ

丁度お昼どき、魚つかみが終わり一息ついたところで、スイカのおやつです。とても大きなスイカで、10kgはありそうでした。昨日から、支流で十分に冷やしてあります。切ると、それはそれは美しい赤色です。丁寧に切って、みんなに食べてもらいました。子どもたちは「もっと食べたい！」と、食欲旺盛です。未来の日本を作り上げていく子どもたちですから、いっぱい食べてもらいました。

みんなで食べる大きいスイカ、夏の醍醐味ですね！

④ソーメン流し

装置が、スゴイ！

3メートルの半割の竹が3本、上にホースをつけ、下には台とバケツ。3台のガスコンロでソーメンをゆで、冷やし、樋に流していく。赤や黄色のパプリカやパイナップルまで流れて来る。子どもたちは、上手にとって食べる！「もっと流して！」夏の風物詩だね！来年は、この改良版が出そうだ。

⑤ピザを焼く

高松さんたちのグループは、夕飯にピザ窯を使ってピザを焼いた。

火起こしは龍馬君。龍之介君と悠人君はピザ生地をこね、チーズをのせている。お母さん方も、楽しそうにお話ししながら生地づくり。

お味は、どうだったのだろうか？（もちろん、きまってるネ！）

⑥ゲンジホタル鑑賞

7時15分集合。短く説明し、ホタルのマナーを確認し、出発！

歩いて15分。

だんだん暗くなるが、

民家の光は見えない。

回りは、ワラビ畑の

巨大な茎葉が見えるだけ。

民宿の明かりが見えてきた。

橋を渡り、さらに進む。

もう真っ暗だ。

「あっ、光った！」

「こっちも、光ったよ！」

「あの、奥の方にもいるネ！」

ポツポツと見えて、一安心。

橋の方に戻ってきた。

橋の下流で2匹のホタル発見。どんどん近づいてくる。

「大きい！」「明るい！」「すごい！」

「手にとまった！」

「きれいだネ！」

みんな感嘆の声をあげっぱなし！

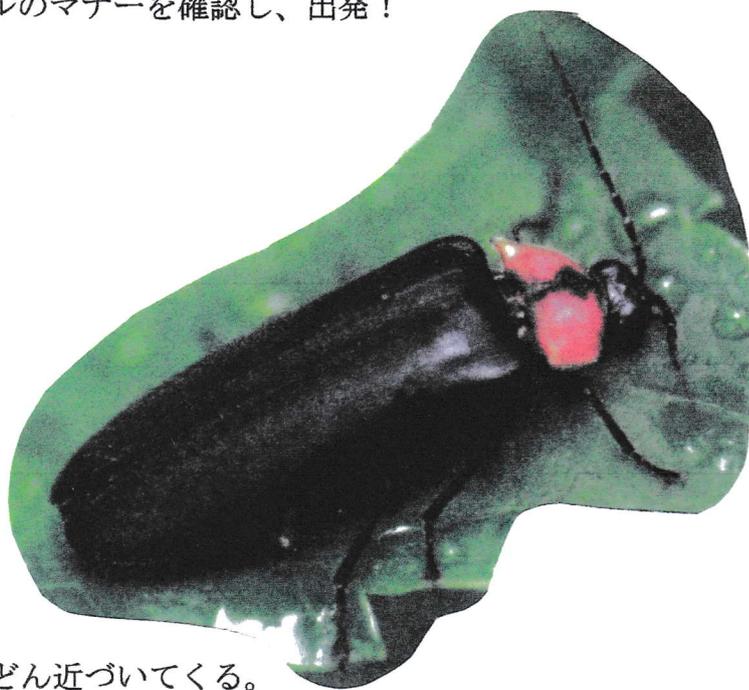
葛さんは、虫カゴに1匹つかまえた。体のつくりをよく観察することができた。みんなが観察してカゴから放つと、光りながら旋回し闇にのまれていった。

往復1時間のゲンジホタル鑑賞は、一人一人にたくさんの感動を与えてくれた。

闇を「歩く」行動が、「真っ暗」「怖いネ」「光った、ホタルだ！」「きれい！」などの心象風景を「演出」してくれたようだ。

7、ふりかえりの感想

- ホタルをさがしにいったとき、あるくのはつかれたけど、たのしかったです。



年長

- 2日間、要所のお天気に恵まれ、思った以上に楽しく過ごすことができました。
少し夜遊びをしすぎて疲れましたので、次回の時は注意します。

江北小4年

母

- 魚つかみ、ヌルツとした。
ホタルさがし、ピカピカだった。
カヌー、きんちょうした。
ホタルだよ いつまでひかる ピカピカだ

作新学院3年

- (なんてかこうかな?)

1年2組

- さかな たのしい。

年長

- ホタルをさがしにいったことが、楽しかったです。
くらいなか歩くことはあまり体験できないので、よかったです。
夜おそく ちかちか光る ホタルたち

王子第一小5年

- (なんてかこうかな?)

年長

- 魚つかみで、いっぱい魚をとれて、よかった。
ホタルを見られて、良かった。
くらやみで ホタルのひかり ほしみたい

王子小5年

- 魚つかみが楽しかったです。
ぬるぬるして (つかむのが) むずかしかったけど、3びきぐらいつかまえられました。
ホタル見て 魚つかんで たのしすぎ

王子第一小5年

- 流しそうめんが楽しかった。
ホタルも楽しかった。

年中

父

- 魚つかみ、ヌルヌルしたけど、
3びきつかまえられてよかった。
魚つかみ ヌルヌルしたけど つかまえた

江北小4年

- カヌーをし、UNO とトランプがおもしろかった。

江北小4年